

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 5月 10日	
鹿児島県知事 殿	
提出者	
住 所 鹿児島県霧島市国分山下町1番1号	
氏 名 京セラ株式会社 鹿児島国分工場	
代表者 工場長 重田 幸男	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0995461100	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	京セラ株式会社 鹿児島国分工場
事業場の所在地	霧島市国分山下町1番1号
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	05 製造業
② 事業の規模	製造品出荷額：191,904百万円
③ 従業員数	5,438人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・別紙 廃棄物処理工程図

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・別紙 産業廃棄物に係る管理体制

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) ・濃縮装置増設に伴う汚泥の削減 ・製造方法変更による廃プラ、陶磁器屑の削減 ・原料再生利用に伴う、汚泥の削減 ・歩留まり改善による廃棄物の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・社内剥離による廃プラの有価物化 ・歩留まり改善による廃棄物の削減 ・貴金属付着物の有価物化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発生する廃棄物を細かく分別し有価物化を図る。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も継続して取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) ・蒸発器増設による廃液減容 ・複合中間処理設による汚泥乾燥及び酸・アルカリ廃液の減容		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も同じ様に継続して取り組む。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・処理委託手順に照らし、産廃処理業者の開拓、選定を行っており定期的に処理状況の現地確認を行っている。 ・再生利用業者への処理委託 汚泥、廃酸、廃アルカリ：セメント原料 廃プラ類：リペレット化、 廃油類：燃料化 ガラス、陶磁器屑：路盤材、スラグ化 			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
・今後も同じ様に継続して取り組む。			
※事務処理欄			

産業廃棄物 処理計画書 内訳書

令和6 年度分

事業場名

京セラ株式会社 鹿児島国分工場

別紙

※取り扱う廃棄物の種類が1種類であっても、この表を作成してください。

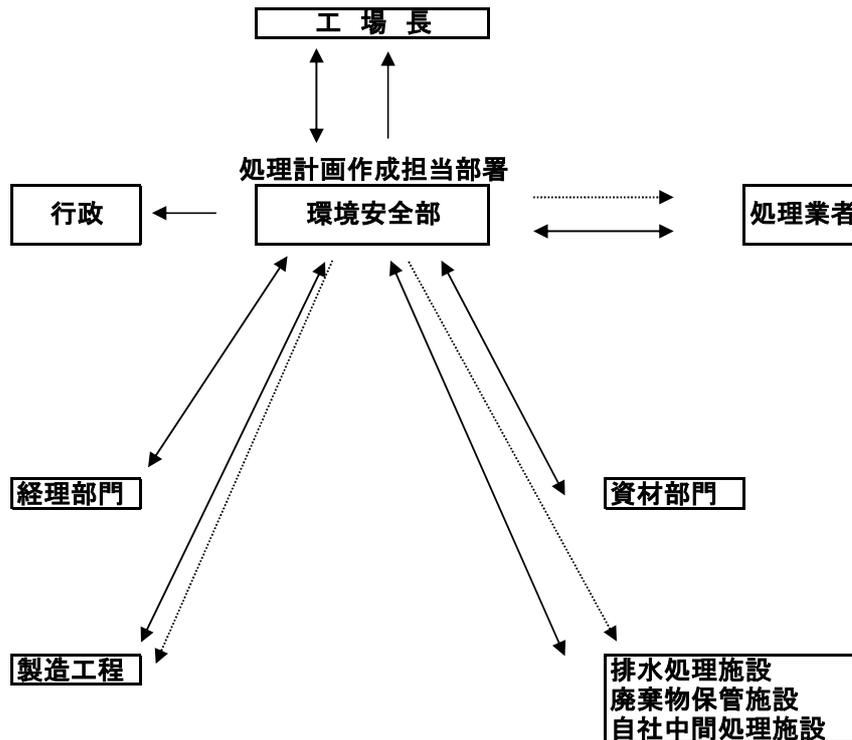
数字(t)

廃棄物の種類	廃棄物の排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分		産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状(前年度実績)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)		②計画(今年度計画)		①現状(前年度状況)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)				②計画(現年度計画)						
	排出量	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分を行った量	自ら埋立処分を行う量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	(左記内訳)再生利用業者へ処理を委託する量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	
1 燃え殻																					
2 汚泥	565,338.29	644,469.53	0.00	0.00	0.00	563,451.71	0.00	642,334.95	0.00	0.00	1,886.58	1,511.67	1,886.58	0.00	0.00	2,134.58	1,707.18	2,134.58	0.00	0.00	
3 廃油	123.96	141.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	123.96	0.00	123.96	0.00	0.00	141.31	0.00	141.31	0.00	0.00	
4 廃酸	52.36	59.69	0.00	0.00	0.00	44.29	0.00	50.50	0.00	0.00	8.06	0.00	8.06	0.00	0.00	9.19	0.00	9.19	0.00	0.00	
5 廃アルカリ	53.68	61.19	0.00	0.00	0.00	34.82	0.00	39.70	0.00	0.00	18.86	0.00	18.86	0.00	0.00	21.50	0.00	21.50	0.00	0.00	
6 廃プラスチック類	3,932.89	4,401.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,932.89	2,079.66	3,932.89	0.00	0.00	4,401.29	2,288.61	4,401.29	0.00	0.00	
7 紙くず													0.00								
8 木くず	82.50	94.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	82.50	13.46	82.50	0.00	0.00	94.05	15.34	94.05	0.00	0.00	
9 繊維くず																					
10 動植物性残さ																					
11 動物系固定不要物																					
12 ゴムくず																					
13 金属くず	0.63	0.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63	0.63	0.63	0.00	0.00	0.72	0.72	0.72	0.00	0.00	
14 リートくず及び陶磁器くず	223.48	251.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	223.48	223.48	223.48	0.00	0.00	251.97	251.97	251.97	0.00	0.00	
15 鋳さい																					
16 がれき類																					
17 動物のふん尿																					
18 動物の死体																					
19 ばいじん																					
20 その他																					
21 混合廃棄物																					
22 廃石綿(特管)																					
23 石綿含産業廃棄物																					
合計	569,807.79	649,479.76	0.00	0.00	0.00	563,530.83	0.00	642,425.14	0.00	0.00	6,276.96	3,828.90	6,276.96	0.00	0.00	7,054.61	4,263.83	7,054.61	0.00	0.00	

添付資料

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)に係る管理体制図

〔管理体制図〕

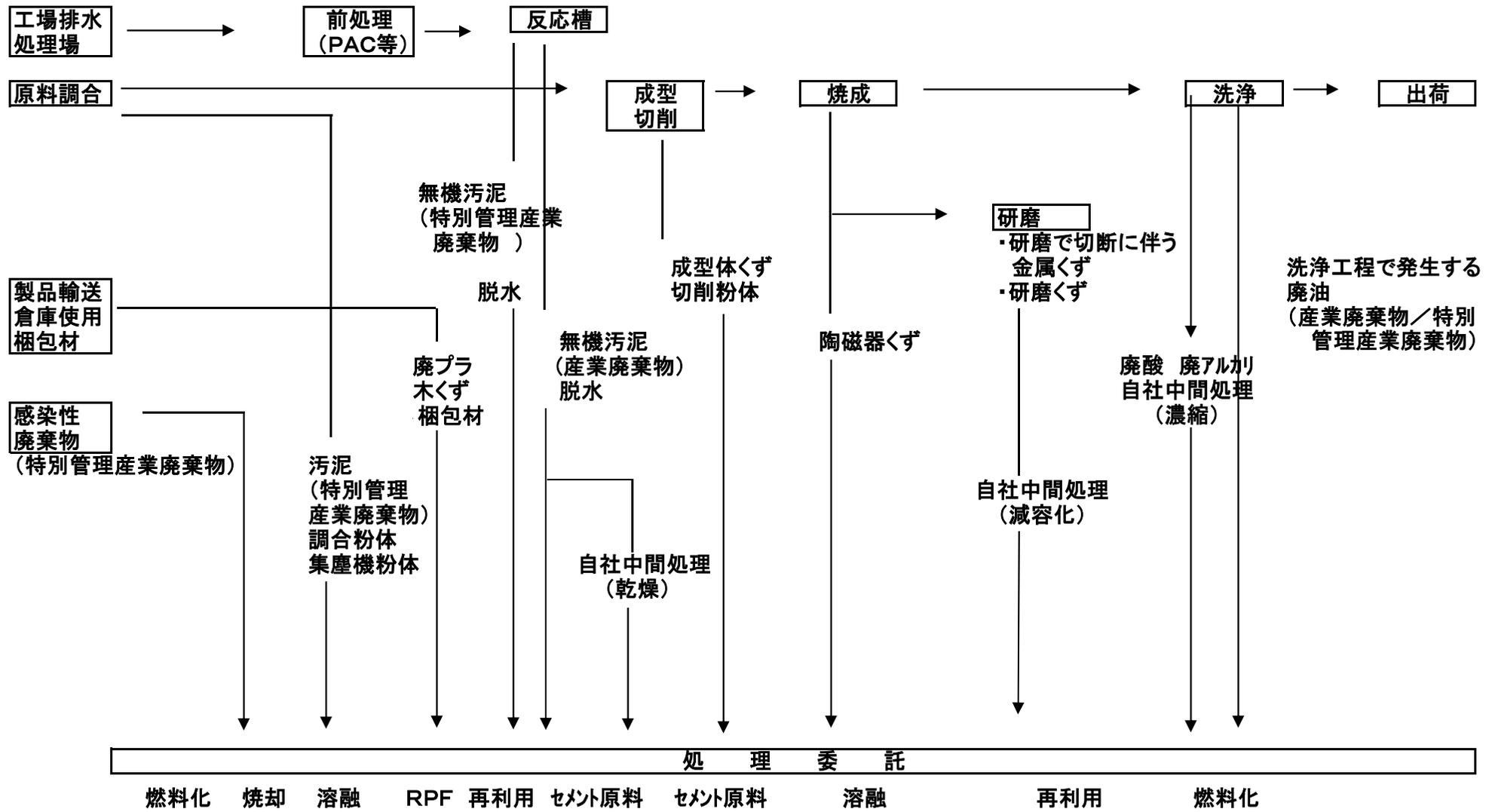


〔各部署の役割〕

部署	役割
環境安全部	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿の作成 産業廃棄物発生の種類毎の発生量、排出量及び集計等 処理委託業者との連絡調整及び定期査察 処理委託業者の適正管理、処理業者との契約、委託量マニフェスト伝票の発行・管理 産業廃棄物減量化、リサイクル化の社内啓発、部署間の連絡調整 産業廃棄物処理計画の策定 行政への報告等 工場長への連絡・報告
経理部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理委託費の支払い・入金確認等 廃棄物排出時の計量・立会い業務 環境安全部との相互連絡
資材部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物業者の調査・選定 処理委託費の値決め 請求金額の確認 環境安全部との相互連絡
製造工程	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程と性状・発生量等の確認 廃棄物廃棄方法の指示 環境安全部との相互連絡
排水処理施設 廃棄物保管施設 自社中間処理施設	<ul style="list-style-type: none"> 脱水状況(含水量等)の確認 廃棄物保管量の把握 廃棄物処理委託のスケジュール策定(環境安全部環境課現場部門) 自社中間処理施設運転管理

→ 報告 指示 ↔ 相互連絡

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)発生工程フロー



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。